

(様式第1号)

2019年4月26日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：マネジメントに関する領域

科目名：チームマネジメント

単位数：2単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒420-0856

静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話：054-253-0818

FAX：054-253-0829

E-mail：shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：一般社団法人静岡県介護福祉士会

申請責任者：会長 及川 ゆり



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	チームマネジメント	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	チームマネジメントについての基礎理論を理解したうえで、自職場において実践するための力量を獲得する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームマネジメントについての基礎理論を概説できる。 ・ 介護サービス組織におけるチームの特性について説明できる。 ・ 介護サービス組織におけるチームの行動や力学を分析できる。 ・ 組織、チームの文化や風土、メンタルモデルに関する基礎理論と分析方法が説明できる。 ・ 上記を踏まえて、自職場におけるチームや多職種連携の現状と改善策について検討を行うことができる。 ・ 上記を踏まえて、チームの改善・改革の視点を持ち、職場における自分自身の行動について省察を行い、今後、持論 (theory in use) を形成していく素地ができる。 	
研修内容 (研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○ チームに関する基礎理論 <ul style="list-style-type: none"> ・ チームの定義 ・ チーム生成過程 ・ リーダーシップとフォロワーシップ 等 ○ チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉現場のチームとしての特性 ・ チームの分析と評価 ・ チームメンバーの組織行動 ・ チームリーダーシップの発揮 ・ コンフリクトマネジメント ・ 多職種連携・多職種協働 ○ 組織文化の分析と応用 <ul style="list-style-type: none"> ・ チームの文化と風土 ・ 学習するチームの構築 	<p>【講義のねらい】 基礎理論等の講義を行い、その後に事前課題を教材として使用した個別ワークやグループディスカッションを繰り返すことで知識の定着、チーム運営について学んだことの理解を深め、改善策につなげる。</p> <p>○ 事前課題 (5時間) 事前課題として自職場のチームに関するワークシートをテーマごとに記入してくる。記入したワークシートを元に各回の演習に使用する。</p> <p>● 1日目の講義と演習 (9時間)</p> <p>○ 1日目の講義</p> <p>1回目: チームに関する基礎理論 2回目: 福祉現場のチームとしての特性、チーム分析と評価 3回目: チームメンバーの組織行動 4回目: チームリーダーシップの発揮と、コンフリクトマネジメント 5回目: まとめ</p> <p>○ 1日目の演習</p> <p>1回目: 自職場のチーム特性について 2回目: 自職場におけるさまざまなチームの特性と課題、改善。 3回目: チームメンバーの理解、課題と改善</p>

		<p>4回目：自職場でのトラブルとコンフリクトマネジメントの課題整理</p> <p>5回目：筆記試験と各自の課題発表</p> <p>●2日目の講義と演習（9時間）</p> <p>○2日目の講義</p> <p>1回目：多職種連携コンピテンシー</p> <p>2回目：組織文化、メンタルモデル</p> <p>3回目：ナレッジマネジメントとチームとしての成長、向上</p> <p>4回目：課題の明確化と評価</p> <p>5回目：まとめと評価</p> <p>○2日目の演習</p> <p>1回目：他職種連携に必要な能力と自職場の課題についてディスカッションをする</p> <p>2回目：自職場の組織文化についてまとめ、課題を明確にする。</p> <p>3回目：チームとしての特性、特徴に応じたリーダーの関わり方、ナレッジマネジメント</p> <p>4回目：自職場の課題の整理、具体的な改善計画についてのプレゼンテーション</p> <p>5回目：自職場の課題と計画についてのディスカッション</p> <p>○事後課題（7時間）</p> <p>2日間の学びを活かし、自レポートを作成する。各1,200文字以上。2日間で学んだ内容からの記述とすること。</p> <p>「自職場のチーム分析と計画的な改善」「ヒューマンサービスにおける力のあるチームとはどのようなチームか」</p>
<p>研修方法</p>	<p>■ 集合研修</p> <p>■ 課題学習</p> <hr/> <p>○ 集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○ 課題学習は事前・事後課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
<p>研修時間</p>	<p>30時間（集合研修18時間、課題学習12時間）</p>	
<p>修了要件</p>	<p>○ 全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については30分を上限として認める。（レポート課題あり）</p> <p>○ 修了評価は①講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験（40%）②事後課題（60%）として100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。D評価の場合は、1回のみ再レポートの提出を許可しC評価以上とならなければ修了を認めない。</p> <p>○ 事後課題の提出が期限を過ぎた場合は、修了を認めない。</p> <p>なお、集合研修を欠席した場合、課題が提出されていても修了を認めない。</p>	

講師要件 (講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了していることが望ましい ・①介護福祉士で介護職員として10年以上の勤務歴を有する者②介護現場をフィールドとした組織行動論に関わる研究論文(筆頭者以外を含む)を執筆している者③その他、介護現場の実態についての理解が十分あり、①②に準ずると認められる者が望ましい ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ・ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。
修了評価	<p>○修了評価について</p> <p>①筆記試験(40%) 講義で学んだ基礎理論に関する筆記試験(6問×2回)</p> <p>②事後課題(60%) 2日間の学びを活かしレポートを作成する。各1,200字以上、2日間で学んだ内容からの記述とすること。レポートは2つのテーマでそれぞれ提出をする。</p> <p>1.「自職場のチーム分析と計画的な改善」 2.「ヒューマンサービスにおいて求められるチームとは」</p> <p>レポートの体裁、引用参考などの取り扱いについては、事前に示し、内容の他に体裁などについても評価に加える。 提出期限はもとより、指定の文字数、体裁になっていないもの、テーマと離れている、不十分な点がある場合はD評価となる。 (レポートの引用、文献「介護福祉学」執筆要項に準拠する)</p> <p>100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価(100点満点中60点以上)で修了とする。D評価の場合は、1回のみ再レポートの提出を許可し、C評価以上とならなければ修了を認めない。</p> <p>再レポートの評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出の期日が守られ、体裁も整っていること。 ・D評価の原因を理解し、具体的な改善がされていること。
(3)研修の環境条件	
定員 (講師の配置基準)	40名 (講師1名) 演習時も同じ講師が行う。ファシリテーターとして3名程度認定介護福祉士又は資格取得後10年以上の介護福祉士とする。
開催場所 (都道府県)	シズウエル (静岡県静岡市葵区駿府町1-70)

コマシラバス

科目【チームマネジメント】

1日目【講義・演習9時間】

※本科目に関しては1時間を45分と換算します。

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	チームに関する基礎理論 ・チームの定義	9:30～11:00	90 【講義】 ・この科目を学ぶ意義、目的と到達目標、評価 ・チームの定義 ・福祉現場のチームにおけるリーダーシップとフォロワーシップ ・チームビルディング（タックマンモデル） 【演習】 ・事前課題を用いて、自身のチームの特徴についてディスカッションすることでチーム生成過程についての理解を深める。
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 ・福祉現場のチームとしての特性 ・チームの分析と評価	11:10～12:40	90 【講義】 ・ヒューマンサービスの特性 ・施設系、在宅系サービスとそれぞれのチームの特性 ・チーム診断等 【演習】 ・事前課題を用いて、自職場のチームの特性について発表し、ヒューマンサービスの現場の特性とチームの課題についてまとめる。
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 ・チームメンバーの組織行動	13:40～15:10	90 【講義】 ・役割理論、組織行動、リーダーシップに関する理論 【演習】 ・事前課題を用いて、チームメンバーの役割、キャラクターの理解、チームの特性について言語化し、ディスカッションすることでチームの理解、組織行動についての理解を深める。
	休憩	15:10～15:20	
4コマ目	チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 ・チームリーダーシップの発揮 ・コンフリクトマネジメント	15:20～16:50	90 【講義】 ・コンフリクトマネジメントとは ・原因、内容分析 ・ダイバーシティ化とコンフリクトマネジメント 【演習】 ・事前課題を用いて、原因、問題、課題を整理することで理解を定着させる。
	休憩	16:50～17:00	
5コマ目	チームに関する基礎理論 チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用	17:00～17:45	45 【講義】 ・本日のまとめ 筆記試験 ・チームに関する基礎理論についての

2日目【講義・演習9時間】

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 多職種連携・多職種協働	9:30～11:00	90 【講義】 ・IPWとIPE ・それぞれの職種の理解と多職種連携コンピテンシー 【演習】 事前課題を用いて、多職種連携に必要な能力について、課題をまとめる。
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	組織文化の分析と応用	11:10～12:40	90 【講義】 ・メンタルモデル ・組織文化 ・チームの風土 【演習】 事前課題を用いて、各自職場の現状の組織文化について理解を深める。
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	組織文化の分析と応用	13:40～15:10	90 【講義】 ・ナレッジマネジメント ・学習するチーム ・チームとしての成長 【演習】 事前課題を用いて、チームの特性を踏まえ、チームが成長するために必要なこと、情報共有等のためのツールについてディスカッションすることで個々の課題の改善に結び付ける。
	休憩	15:10～15:20	
4コマ目	組織文化の分析と応用	15:20～16:50	90 自職場のチームが抱える課題についての改善策に関するプレゼンテーション ・自職場のチームに最優先される課題とその具体的な改善策についての検討とプレゼンテーションをすることで2日間の学びについて確認する。
	休憩	16:50～17:00	
5コマ目	チームに関する基礎理論 チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用 組織文化の分析と応用	17:00～17:45	45 筆記試験 ・チームや多職種連携が機能するための基礎理論の活用と応用についての筆記試験（15分程度） プレゼンテーションに対する評価とまとめ ・自職場の具体的な課題、改善策、チーム力の向上のための具体策となっているかを確認することで、2日間での学びの理解の定着を図る。

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2021年10月18日・19日
	②
	③
	④
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	○チームマネジメント 奈良 環氏 略歴 株式会社ニチイ学館 訪問事業所サービス提供責任者 訪問介護事業所管理者 ヘルスケア課主管 聖徳大学短期大学部保育科介護福祉専攻 講師 文京学院大学人間福祉学部人間福祉学科 准教授 (現在に至る) 主な著書： 日本介護福祉士会「介護実習指導者テキスト改訂版」 社会福祉振興・試験センター「介護福祉 介護リーダー育成をめざしたキャリア」 全国社会福祉協議会「ふれあいケア『考える人材』を育てるリーダーになろう！」
	担当する講義等 事後課題評価 奈良 環氏 経歴等は同上

(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名） 認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	及川 ゆりこ
機構問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
機構問合せ先担当者氏名	平野 美智子
機構問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
機構問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）